

平成31年度前期 敦賀市立看護大学 単位互換開放科目

(1)一般教養科目【 11 科目】

授業科目	単位数	曜日	時限	受入人数	備考
臨床心理学	2	月	1	若干名	
教育学	2	月	2	若干名	
科学論	2	月	3	若干名	
生物学	2	隔週 月	4・5	若干名	
健康とスポーツ	1	火	4	若干名	
環境学	2	火	5	若干名	
社会学	2	水	2・3	若干名	
経済学	2	木	1	若干名	
家族社会学	2	木	2	若干名	
言語と表現	2	木	3・4	若干名	
日本国憲法	2	集中		若干名	

(2)専門基礎科目【 5 科目】

授業科目	単位数	曜日	時限	受入人数	備考
疫学	2	月	3	若干名	
脳と心の科学	1	月	4・5	若干名	
臨床病態学Ⅱ	2	火	1・2	若干名	
臨床栄養学	1	水	4	若干名	
保健医療福祉行政論	2	水	5	若干名	

(3)看護専門科目【 11 科目】

授業科目	単位数	曜日	時限	受入人数	備考
母子保健学	1	月	1・2	若干名	
小児看護学概論	1	火	4・5	若干名	
地域看護学概論	2	水	3	若干名	
産業看護論	1	水	3・4	若干名	
看護学原論	1	水	4	若干名	
家族看護学	2	木	2	若干名	
母性看護学概論	1	隔週 木	3・4	若干名	
地域精神保健学	1	金	1・2	若干名	
ターミナル看護	1	集中		若干名	
看護研究法論	1	集中		若干名	
看護マネジメント論	1	集中		若干名	

※開講時間は予定です。

※大学の授業開始日は、4月8日(月)です。

※気象状況等により開講日時を変更する場合があります。

※教科書、参考書等授業によっては経費のかかる場合があります。

※正規学生の履修の人数によっては開講されない場合があります。

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
臨床心理学	2	15	月	1	大野木	<p>臨床心理学の実践の場には、医療関連領域、教育関連領域、労働・産業領域、福祉関連領域をはじめとしてさまざまな領域があり、それぞれの領域の中で心理臨床の活動内容や援助方法を研究する基礎を学修する。</p> <p>心理学と臨床心理学の研究法を解説し、学習心理学、行動科学、社会心理学、心理検査等の関連諸領域に気配りしながら幅広く心理臨床的領域を概説し、今日の対人関係や集団の中の人間関係で発生する心理臨床的な諸問題に気づきそれを解決する基礎力となる方法や技法さらには考え方を学修する。</p>
母子保健学	1	8	月	1・2	大川	<p>わが国における母子保健の歴史的変遷や現状を把握し、母子保健の意義を理解するとともに、母子保健の今日的課題を明らかにする。</p> <p>母子保健の歴史的な変遷と母子保健統計、ならびに健全な母性の育成と健康作りに向けた母子保健行政や施策の現状と課題について教授する。わが国における母子保健について、女性の生涯にわたるリプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関わる健康と権利）の視点で考察する。</p>
教育学	2	15	月	2	高野	<p>ヒトが人になるためには教育が必要だと言われる。こうして私たちが教育を受けてきたわけだが、私たちがこれまで学んできたことは、そもそも一体何だったのかを考える。</p> <p>この授業では、有史以来の人間の教育の様々なあり方を通観することにより、人間に対する理解および教育によって形成された自己に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>講義を主とするが、意見を書いてもらう機会をできる限り設ける。</p>
科学論	2	15	月	3	原田	<p>論理的な思考と科学的な思考の修得を目的とする。</p> <p>第Ⅰ部では、文章に表現された論理を分析することで論理的思考を修得する。そのために、例題を解いて考えることも行う。第Ⅱ部では、自然と社会に関して科学的思考を鍛錬するために、いくつかの事例を取り上げて考察を加える。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
疫学	2	15	月	3	喜多	<p>疫学は、疾病とその原因との関連性を証明する手段として、また医療・看護・公衆衛生活動に必要な「根拠」を提供する手段として活用されてきた。本授業はこれらの「根拠」を解釈するために必要な基礎的知識、そして将来の看護研究や地域診断を計画・立案・実施及びその結果を解釈する際に必要な基礎的知識と技能の獲得を目的とする。</p> <p>疫学の概念、発展の歴史を概説し、因果関係を立証するための手順としての疫学研究の組み立て方を示す。また、疫学研究に必要な解析手法を解説する。さらに、模擬課題に沿った疫学研究の計画作成を試みる。</p>
生物学	2	15	隔週月	4・5	岩崎	<p>この授業では、生物の基本を学習する。ヒトは60兆個の細胞から構成されている。細胞が集合した組織（例えば、脳や皮膚）は、組織ごとに、決められた働きをする。ヒトは有性生殖により子孫の個体を作り、ヒト（親）の持つ形質は子供に遺伝する。</p> <p>細胞の構造、有性生殖、遺伝、遺伝子の本体、組織の働き、個体の恒常性の維持、刺激受容と応答の順に、生物の基本を学習する。次に、遺伝情報とその発現、遺伝子産物としての酵素・タンパク質、酵素の働きによる代謝を学習する。この学習によって、遺伝子が酵素の設計図で、酵素が代謝パスウェイを円滑に進める働きをしていることが理解できる。</p>
脳と心の科学	1	8	月	4・5	長井 玉井	<p>看護の対象となる人々の心を、生物学的・心理学的・社会的（バイオ・サイコ・ソーシャル）な各視点から理解する。</p> <p>対象者の心（精神）を幅広い側面から理解するため、脳の形態機能や心理学的な理論、社会的な側面から分析する視点について、基本的な知識を学習する。</p>
*臨床病態学Ⅱ	2	30	火	1・2	茂庭	<p>疾病を予防し、疾病の回復を支援する看護を展開するために、疾病のなりたちや回復の過程、回復促進に関して臨床で必要不可欠な基礎的でしかも実践的な病態の知識を習得する。</p> <p>疾患本態の成り立ちを症状、診断、予防、治療、予後といった視点から、臨床病態学の基礎的知識を学ぶ。また、患者の異常な状態をアセスメントし、医学・看護それぞれの立場から適切に対処できるための方法論を学習する。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
救急看護学	2	15	火	1・2	高原 河合	<p>救急看護の特殊性、救急外来におけるトリアージの重要性や方法を理解する。また、初期診療の流れ、緊急・重症患者のフィジカルアセスメントについて理解することを目的とする。</p> <p>救急外来患者をトリアージする場合の視点、キーワードについて学習する。また、救急疾患、重症外傷の病態の基礎知識を学習する。救急外来における初期診療の流れ、緊急・重症患者のフィジカルアセスメントについて学習し、主要症状から重症度を判断し、アプローチして行く特殊性を学ぶ。</p>
健康とスポーツ	1	8	火	4	塩津	<p>健康・体力に対する認識を深め、運動・スポーツの健康的意義を理解することにより、生涯にわたって自主的に健康・体力づくりを実践する能力や態度を高めるとともに、健康やスポーツ問題に関する情報の分析能力を身につける。</p> <p>個人および社会における健康問題を認識するとともに、生涯にわたって運動・スポーツに親しむために必要な科学的知識を学習する。また、生涯スポーツ(スポーツの生活化)の必要性和具体的な方策などについても理論的に学習する。</p>
小児看護学概論	1	8	火	4・5	吉川	<p>乳児期から思春期までの子どもの成長・発達及び家族の発達に関する知識と基礎理論を理解する。また、子どもの成長・発達に応じた育児支援や健康生活やライフスキルの育成について学修し、小児看護の役割、責務及び子どもの人権について理解を深める。</p> <p>授業の前半で、小児看護の役割、小児看護の対象者である子どもと家族について、小児を理解するうえで必要な理論を教授する。3回目以降は、一部グループワークを取り入れながら、子どもの成長・発達および日常生活の援助の在り方を時間軸に沿って系統的に学修する。これらの学習を踏まえて、子どもの人権、小児医療における子どもの権利について理解を深める。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
環境学	2	15	火	5	喜多	<p>人の生活は常に外環境との密接なかかわりの中で営まれている。すなわち、環境は生命の維持に欠かせないものであり、また、時として健康破綻を招く引き金にもなる。</p> <p>本授業は、人と環境・生態系との相互作用として生命が維持されることを理解し、環境保全の意義について理解を深めることを目的とする。</p> <p>地球の構成を物理的、化学的、生物学的に解説し、我々が住む環境の概要を理解する。また、人口問題、食糧問題、環境汚染の現状を示し、それらの問題を理解するために必要な知識や技術を解説する。</p>
社会学	2	15	水	2・3	塚本	<p>社会学の基本的な視座である相対化、社会的な文脈への位置づけについて理解することを通して、多角的・総合的にものごとを捉えることのできる視点の獲得を目指す。</p> <p>社会学的なものの見方、考え方の面白さを体感してもらうため、できるだけ具体的な事例を通して、社会学のキャッチフレーズの一つである「自明性を疑う」という作業を展開する。「目から鱗が落ちる」という体験を通して、社会学的な思考のエッセンスを身に付ける。</p>
地域看護学概論	2	15	水	3	畑野 喜多	<p>社会環境の変遷に伴う人々の暮らしや健康状態の変化を踏まえ、公衆衛生看護の意義と活動のあり方について考えると共に国際保健にも目を向ける。</p> <p>資料や統計から、公衆衛生看護活動の歴史の変遷と今日的課題について概観する。実践事例や先駆的事例を教材とし、公衆衛生看護とは何かについて考える。</p>
産業看護論	1	8	水	3・4	河田	<p>職場環境と労働者との相互作用により生ずる健康問題を理解し、働く人々が安全で快適な労働生活を送ることができ、企業の活性化にも繋がるよう健康面から支援する産業保健活動の基礎的な知識について教授する。また、社会・経済状況の変化に伴う労働者の健康課題やその対策についてクリティカルに考え、さらに産業看護職の役割と職務について考えられるよう教授する。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
看護学原論	1	8	水	4	高鳥	<p>看護の基本となる概念（看護・人間・環境・健康）を理解するとともに、生活環境と健康との関連について学習する。</p> <p>近代看護の創始者であるナイチンゲールの看護論から、看護の定義、看護の役割、人間と環境との相互浸透、健康の法則等について学び、看護に対するイメージを形成する。</p>
臨床栄養学	1	8	水	4	山崎	<p>個体を維持・存続していくためには、食物を摂取し、消化・吸収して栄養素として人体に働き、機能していかななくてはならない。そこで、栄養や栄養素を、また、特定の疾病による食事療法などを生理学および生化学的な視点から学習し身につける。</p> <p>人体を維持・存続するための栄養について考え、食物摂取から消化・吸収、体内での代謝・消費といった現象を関連づけて理解する。また、現代の象徴と言われる飽食による生活習慣病の予防や治療等の問題を取り上げ、栄養学的にみたより良い人体の維持のための方法論について学習する。</p>
保健医療福祉行政論	2	15	水	5	喜多	<p>保健医療福祉行政が目指してきた理念、目的、役割を日本社会の歴史的変化を背景に理解するとともに、地域社会における保健医療福祉行政の制度や施策を活用できる能力を養う。</p> <p>我が国における社会・経済の変化と暮らしを背景に、保健医療福祉に関する行政・財政の仕組み、制度についての基本的知識を学ぶ。また、人々の生活、健康問題、疾病構造の変化等に対応した、社会保障制度や保健医療福祉行政などの実際について学習する。特に、地方からの視点に注目しながら、我が国全体や諸外国の実状を理解する。</p>
経済学	2	15	木	1	原田	<p>医療や福祉は多様な社会的制度や仕組みによって支えられている。経済的な仕組みもまたその中の一つである。そこでまず、経済学はそもそもどのような科学であるかについて理解し、その上でそれは医療や福祉とどのように関わっているのかを理解する。</p> <p>経済学を社会科学の一部としてまず位置づける。その上で、経済学の理論であるミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的な内容を踏まえ、それぞれの応用として医療や広く福祉がどのように位置づけられ正当化されるのかを示していく。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
家族看護学	2	15	木	2	吉川	<p>社会の最小単位(集団)である家族についての基礎的な理解をもとに、ライフサイクルおよび様々な健康問題と家族との関係性、家族(集団)のアセスメント、援助計画、援助方法について理解する。</p> <p>家族の役割・機能、健康と病気が家族にどのように影響するかを理解し、看護アセスメント・援助計画に必要な理論やモデルを学習し、家族看護における具体的な援助方法について事例を通して学習する。</p>
家族社会学	2	15	木	2	高田	<p>私たちが生活する基礎的集団である家族について、客観的、科学的に考える力を養い、当事者かつ支援者として、家族に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>前半は、家族の基礎概念、日本の家族の歴史、国際比較からみた日本の家族という3つの観点から、日本の家族について学ぶ。</p> <p>後半は、実際に家族関係にかかわる支援実践課題として、セクシュアリティ、虐待、生殖技術、介護という4つの課題を中心に学ぶ。</p>
精神看護学		30	木	3・4	長井	<p>各精神疾患について架空の人物を登場させ、そのストーリーを題材としながら、精神症状や治療が日常生活ならびに対象者の人生に及ぼす影響について教授する。その上で、生物学的・心理学的・社会的な視点で対象者をアセスメントする方法を学び、対象者の安全と安寧ならびに自己実現にむけた精神看護の具体的方法を演習する。</p>
言語と表現	2	15	隔週木	3・4	木村	<p>私達はなぜ自分について書き、語ろうとするのだろうか。日記や手紙・手記は文学の源流の一つでもある。代表的な作家達の著述を通して、こうした文章の特性・多面性について理解を深める。なお、授業中に数回意見を書いてもらうことで多様な読みの可能性を紹介し、これを共有しながら講義を進める。</p>

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
母性看護学概論	1	8	隔週木	3・4	森谷	女性の全生涯を通じた健康生活の促進と健康問題への援助活動を学び、人間の性と生殖の側面から、更に、母性看護学の基本概念を理解し、母性看護の役割と重要性について認識を深める。
地域精神保健学	1	8	金	1・2	長井	我が国における地域精神保健（コミュニティ・メンタルヘルス）の意義と、その向上を目指して展開されている取り組みの現状を学ぶ。 授業の始めに、我が国における地域精神保健（コミュニティ・メンタルヘルス）の意義について教授する。それをふまえて、地域精神保健上の諸問題を課題としてグループ・ワークを行い、発表と丁寧な討論を行う。
日本国憲法	2	15	集中		生駒	法の精神、憲法の概念について学んだ後、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を中心に、背景にある目的を踏まえて講義を進める。本講義では、日常生活で体験する身近な問題を取り上げることによって、現代社会における法の生きた現実の機能を学ぶとともに、憲法の中心的役割とされる、我々国民の権利と自由を守る基本的概念を理解してもらう。 これまでに中学校や高校等で学んだ、「日本国憲法」に対する考え方をより深め、条文に込められた意図を理解できるようにする。
看護研究方法論	1	8	集中		交野	研究の方法論を学び、看護研究を行うための基礎知識を身に付ける。また、研究方法を学ぶ中で、科学的思考や論理的思考、文献の活用、研究論文を執筆するための基礎を身に付ける。 研究の目的および目的の違いによる研究方法の選択、演繹的アプローチ・帰納的アプローチそれぞれの研究過程および方法を教授する。また、実際の研究文献を用いて研究手法の分析を行い、研究を行うにあたって必要な基礎知識を習得する。

前期科目

授業科目名	単位数	授業回数	開講時限(予定)		担当教員	授業内容
			曜日	時限		
看護マネジメント論	1	8	集中		交野	<p>看護は、安心・安全な医療、対象の多様なニーズへの対応等、質の高い看護サービスを提供するため組織で活動する。個々人が所属する看護組織の機能を最大限に発揮し、それぞれの役割を達成していくための看護マネジメントを理解する。</p> <p>看護職者が活動する組織を基盤にした看護管理の体系および概要を理解する。さらに、新しい時代に対応した質の高い医療・看護サービスを提供するための方策を看護マネジメントの立場から考える。</p>

平成31年度前期授業予定

平成31年4月8日(月) 前期授業開始

平成31年8月5日(月)～8月9日(金) 前期期末試験

敦賀市立看護大学